

市民クラブ市政報告

発行：姫路市議会市民クラブ 姫路市安田四丁目1番地 ☎：079-221-2042 編集責任者：常盤 真功



お世話になります。
皆様にご支援・ご支持頂き活動を進めております、『姫路市議会 市民クラブ』の仲間です。

今回は、『姫路市議会正副議長選挙及び監査委員の選任、市民クラブ会派役員、所属委員会の変更』、『新市立高等学校設置特別委員会の廃止』、『姫路市教職員組合からの請願』、『高見市議に対する2度目の辞職勧告決議』、そして 6/4～6/30 までの 27 日間で開会された『令和7年第2回姫路市議会定例会での個人質疑』、『マイナンバーカード特設センター開設』についてご報告致します。

I. 『姫路市議会正副議長選挙及び監査委員の選任、市民クラブ会派役員、所属委員会の変更』について

【議長】：石堂 大輔 議員（自由民主党）

【副議長】：駒田 かすみ 議員（市民クラブ）

【監査委員】：山口 悟 議員（市民クラブ）

【監査委員】：白井 義一 議員（公明党）

役職名	氏名	常任委員会
会長	竹尾 浩司	厚生
幹事長	常盤 真功	文教・子育て
政調会長	山口 悟	総務
会員	駒田 かすみ	建設
〃	三輪 敏之	経済観光
〃	阿山 正人	文教・子育て
〃	八木 隆次郎	厚生
〃	蔭山 敏明	建設

【文教・子育て委員会委員長】＝常盤 真功

【予算決算委員会委員長】＝竹尾 浩司

【議会運営委員会副委員長】＝阿山 正人

II. 『新市立高等学校設置特別委員会の廃止』について

R6 年 6 月に新市立高等学校設置特別委員会が設置されましたが、R8 年 4 月の開校に向けて一定程度の審査が完了しましたので廃止することとしました。

III. 『姫路市教職員組合からの請願』について

姫路市教職員組合から提出された請願「子どものゆたかな学びと育ちを保障するための、2026年度政府予算に係る意見書採択について」全会派賛成で採択され、要望書を関係先へ送付することが確認されました。

IV. 『高見市議に対する2度目の辞職勧告決議』について

6月30日の定例会最終日に議員提出議案として、「高見市議に対する辞職勧告決議案」を全会一致で可決した。姫路市議会と同じ議員に対する辞職勧告決議案が2回の定例会で続けて可決されたのは初めてです。2度目の辞職勧告ですが、法的拘束力はないため、高見市議は辞職しない意向です。

V.『令和7年第2回姫路市議会定例会での個人質疑』について

常盤真功議員が質問しました

【個人質問：質問日 6/12】

本定例会にて、13 項目について個人質問しました。
その中で、以下 4 項目についてご報告申し上げます。

●労働力確保への支援について

Q:求職者に「良い労働環境」との印象を持ってもらうことは大事だと考える。
事務スペースや休憩スペース、食堂、トイレなどをワンランクアップさせることは働く従業員の労働環境改善にもつながる。

労働力確保のための労働環境改善への支援を考えることはできないか。

A:中小企業が人材の確保に苦慮していることは認識しており、労働環境の改善は企業の魅力向上のために重要であると考えている。そのため、本市でも今年度から、ワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組む市内の中小企業者を対象に、女性や高齢者等の職域拡大や職場におけるコミュニケーションの活性化を目的として、女性専用トイレや託児スペース、休憩室の新設などの職場環境整備を実施する際の経費の一部を助成する制度を新設した。

●自治会電子回覧板の導入について

Q:自治会回覧板については、「回覧に時間がかかる」、「回覧が負担である」、「内容を家族で共有されにくい」などを仄聞する。

一斉配布により素早く情報共有ができるとともに、将来の自治会の作業負担軽減への取り組み “電子回覧板の導入” を行政が主体的に進めることはできないか。

A:持続可能な自治会運営のためには、自治会活動における負担の軽減が必要であると強く感じている。自治会のデジタル化、特に電子回覧板の導入は負担軽減に有効な手段の 1 つであると認識しており、伝達スピードの向上や情報の蓄積にも役立つことから、効率的な自治会運営にも資するものと考えている。紙による回覧については、デジタル機器の操作に不慣れな方への配慮となるため、行政が主体となる電子回覧板の導入については、電子と紙、それぞれの特性を踏まえた上で、地域活動の負担軽減につながるよう前向きに検討を進める。

●受水槽の水の有効活用について

Q:地震や台風、ゲリラ豪雨などによって停電が起こると、私たちのライフラインが閉ざされる事例も災害時の問題となっている。その際、水量には限りがあるが、3 階建て以上の建物に設置が義務付けられている受水槽の水を有効活用することで生活水不足という不安が軽減できると考える。

生活水として使用するために、衛生を確保された専用の非常用給水栓を受水槽に設置できないか。

A:市民の皆様に対し、最低でも 3 日間、可能な限り 1 週間分の食料、飲料水及び生活必需品を備蓄するよう、様々な機会を通して周知啓発を図っているが、災害により発生した断水時に、給水車等から水が供給されるまでの間、受水槽の水を応急的に活用することは、災害時の自助の取り組みとして大変有効な手段の 1 つであると考えている。災害時において受水槽の水を応急的に、例えば、トイレや洗濯などに使用する生活用水として活用することは大変有意義なものと考えているので、関係部局と連携し速やかに課題整理を行い、具体的な検討を進める。

●姫カツ連携活動への市の対応について

Q:姫カツ連携活動については、「体験型活動やレクリエーション活動、生涯の有無にかかわらず、誰もが一緒に参加できる活動、他世代との交流による活動等、中学校が多様な活動に参加する機会を確保し、本市におけるスポーツ・文化芸術活動の振興と普及を目指す」と示されている。

多様な機会を確保するため、参加促進に向けた支援や取り組みについて、あらたな活動場所の確保など庁内連携した取り組みについて進めることはできないか。

A:姫カツ連携活動への参加促進に向けた取り組みについては、今年度は先行的に関係部局と連携し、公民館講座 142 講座について、講座の内容や活動日時等に関する案内を市内の中学生に対して行っている。

今後は、スポーツクラブ 21 の加盟団体やボランティア活動団体に対しても同様の取り組みを行い、姫カツ連携活動への参加をさらに促進していく予定である。

活動場所の確保について、令和 8 年 1 月からの姫カツ連携活動の登録団体募集に向けて、学校施設をはじめとする公共施設の利活用に関するルールづくり等について、関係部局と連携して取り組んでいく。

また、参加者募集のために効果的な周知を行うとともに必要な支援についても検討し、中学生がスポーツや文化芸術活動に親しめる環境づくりに努めていく。

住みたい、住み続けたいまち姫路に向けて
市民の代弁者として質す！



VI.『マイナンバーカード特設センター開設』について

マイナンバーカードに内蔵されている電子証明書については有効期限が5年とされており、令和7年度以降、多くの方が更新時期を迎えるため、待ち時間短縮と混雑緩和のため、事前予約制による電子証明書更新専用(本人限定)の姫路市マイナンバーカード特設センターをアルカドラッグ東姫路店 2 階に設置しています。

また、市内の中学生がタブレットを用いて学習している『学習プラットフォーム』のポイント還元や、9月中旬から購入申込の受付を予定している『プレミアム付き商品券事業』など、様々な事業において、マイナンバーカードが必要になってきます。

まだお持ちでない方は、ぜひ、ご検討ください。

(新規で申請される方は、姫路市役所や各支所・サービスセンターで申請できます。

またオンライン申請もあります。)

**姫路市マイナンバーカード
特設センター開設!!**

2025.
7/16水 OPEN!

**電子証明書の
更新は
特設センターへ!**
11:00~18:00

姫路市マイナンバーカード
特設センター
アルカドラッグ 東姫路店 2階
〒670-0801 姫路市東区東姫路 1-1-1
(JR姫路駅西口 徒歩1分)

事前予約制 予約受付開始は
2025年7月1日
15:00より

姫路市マイナンバーコールセンター
TEL 079-221-2150 受付 9:00~17:00
(土・日・祝日、年末年始を除く)

※アルカドラッグ東姫路店へのお問い合わせはご遠慮ください。